

# 横浜市公立学校長行動基準

平成 19 年 9 月 4 日

私たち校長は、「横浜教育ビジョン」に基づき、「**3つの基本（知・徳・体）**」と「**2つの横浜らしさ（公・開）**」を最も大切にして、将来の横浜を担う子どもたちが夢や目標を見だし、健やか、かつ、たくましい「市民」として成長していくことができるよう、学校・家庭・地域の連携のもと、「**教育のまち・横浜**」の実現に向けて取り組みます。

そのために、今日の教育を巡る環境が大きく変化してきている状況を踏まえ、私たちは、横浜市公立学校長行動基準に基づき自らの立場を明確にし、公正で誠実な学校経営を実現するとともに、横浜市公立学校のコンプライアンスを推進します。

## 1 法令を遵守するとともに、公正な判断をし、全体の奉仕者として誠実に行動します。

- 教育関係法規を始めとする法令を遵守するとともに、率先して社会規範に基づいた行動をします。
- 不正・不公正を見逃さず、偏りのない公正な判断による学校経営をします。
- 日ごろからサービスの徹底に留意し、事件・事故の防止に努めます。
- 児童生徒をはじめとする個人情報等の情報管理の徹底を図り、守秘義務を守ります。
- 政治的中立の確保を徹底し、節度ある行動をとります。

## 2 子どものよりよい成長を図るため、社会とともに考え取り組む、学校経営をします。

- 学校版マニフェストに基づき自らの経営方針を明確にし、学校経営にリーダーシップを発揮します。
- 開かれた学校づくりを進め、子ども、保護者、地域との信頼関係を深めます。
- 社会全般の動きに常に関心をもち、子ども、保護者、地域の声を真摯に聴き、これに対応します。
- 社会の変化に対応して、前例にとらわれず学校の改革に努め、効果的で効率的な学校経営をします。

## 3 自らの職責と使命を強く自覚し、日ごろから自己研鑽に励み、自らの資質を高めるとともに教職員の育成に努めます。

- 自ら人間力、経営力、教師力等の向上に努めます。
- 常に新しい情報を把握・分析し、判断力と洞察力を高めます。
- 教職員の意欲を高め、資質の向上に向けて常に適切な指導・助言を行います。

## 4 教職員との情報共有をしながら信頼関係を深め、風通しのよい職場環境をつくります。

- 教職員に対し、適切に情報提供を行います。
- 教職員との積極的な対話に努めるとともに、教職員自らが考え積極的に行動できる土壌をつくります。
- 職場が抱える課題に対しては、状況を的確に把握し、誠実に責任ある対応をします。